団体名: 武豊町商工会

事業 力	古类柳西 /北見 口仏)	事業実績	主たる	事業評価																			
事業名	事業概要(背景・目的)		対象者	目 標①				目 標②				得られた効果				ABC	D評値	Б		今後の展開・改善点等			備考
	景気動向者でなった。 域内・規模を 場合の要素を がなるを が大いた。 が大いた。 が大いた。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	 巡回窓口相談指導実企業数 565社 巡回窓口指導延件数1,262件 課題解決提案件数30件 		指標	巡回窓口指導延件数指標		指標	課題解決提案件数		案件数	巡回及び窓口対応により 事業所の改善業者に担 し、小規律時請を把握 し、小規律請を図を図を図 を図を図を図を図 ができ経営支援に繋が た。				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業では 事業では 明本に 明本に 明本に 明本に 明本に 明本に 明本に 明本に 明本に 明本に	出りと	
巡回·窓口相談指 導事業	実施する。 巡回・窓口を通じて、事業	・経営革新承認件数0件 ※巡回窓口指導延件数のう ち非会員への指導	小規模事業者		(達成原	隻 140.2	%)		(達成度	E 100.0	%)		総合評	Α	事実業施評側	A	調査結事業者	Α		現行どおり	現行どおり	指導を行うなど、 引き続き事業を実 施する。	
77.	け、持続的な発達を支援するため金融を予働かな発達を支援するため金融を税務等を行いとと様々な相談養を図るの最もに、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	指導実企業数 59件 指導延べ件数 77件		目標数値	900	実績 数値 1262	目標数値	30	30 実績数値	30		価		価の	目標達成度	果への	必要性		実施方法①	実施方法②			
27 LE (III (III LE)	積極的な支援を実施する。	At the American														А		А		現行どおり	現行どおり		
記帳継続指導	小規模事業者の経理事務合理化と省力化及び納税意識	指導企業数 記帳機械化 93企業		指標			拿延日数		指導延回数		回数	記帳機械化を利用することで、事業所の経理事務				自己評価		満足度	補足	目標①	日標② 数の増加に	記帳機械化利用者数の増加に努め、	
	の高揚を目的に1年間を通 じて記帳から決算までの継	記帳継続指導 43企業			(達成原	隻 83.3	%)		(達成度	84.7	%)	合理化を図ることができ た。決算申告指導により	総合		事実業施	В	調業	Α		現行どおり	現行どおり	事業所の記帳事務の軽減、また計数	友
	続的な指導、またコンピューターを利用した記帳	計136企業 指導延日数 375日	小規模事業者	D +/#		± 4±		- +m		± 4±		適正な税務申告ができ た。	評	Α	評側	目標達成度	超者	必要性		実施方法①	実施方法②	管理による経営力	5
	処理・総勘定元帳の作成・ 試算表の作成・決算書の作 成までの代行業務を行う。	指導延回数 1,271回		数値	450	数値	375	数値	1500	数値	1271		価		価の	В	* 0	А		現行どおり	現行どおり	引き続き事業を実 施する。	
講習会等	地域経済の広域化、消費構造の多様化により、その指導ニーズも広汎多岐にわたる中、小規模事業者にとっ	#化により、その指 11回 62人 (そも広汎多岐にわた 個別指導)規模事業者にとっ 27回 99人 3金融・経営・税 8・情報化等の知識 計 38回 161人 トることや自己略 をを図り、事業者の		七二十四			+ ⊵+=			講者数	小規模事業者が抱える課題に対して必要な知識や 技術の習得により、事業 者の資質向上に繋がっ	総		事実	自己評価	画調事	満足度	補足	目標①	目標②	望やニースの把握 に努め、多くの事 業者が参加できる	曐	
				111777			ארםנ			%)					В		Α		上げる	現行どおり		5	
	て必要な金融・経営・税 務・労務・情報化等の知識		<i>t</i> =.	合評	В	業施評側	目標達成度	度 査 業	必要性		実施方法①	実施方法②	よう周知の徹底を図り、引き続き事	<u>:</u>									
	を習得することや自己啓 発・啓蒙を図り、事業者の 資質向上と円滑な事業運 営、地域の振興に寄すする ことを目的とする。				79		62		152		99		価		価の	С	果の	А		現行どおり	現行どおり	業を実施する。	
	町・JA・商工会・地域団 体の協賛で継続実施されて	ふるさとまつり (8月24・25 日)		+15.47		参加者	数	指標		•	•	地域のイベント事も参加 して、地域振興に取り組				自己評価	_	満足度	補足	目標①	目標②	地域産業のPRの ため引き続き事業	
事業)	いる事業であり、地域資 源・産業資源・観光資源の	参加者数6,524人 ゆめたろうスマイルマラソ	中小・	指標	(達成度 75.9 %)		fe f示	(達成度	Ę	%)	むことができた。	総合	A	事実業施	В	調業	Α		現行どおり		を実施する。		
	PR及び販路開拓の機会と 位置付けるとともに地域の	ン 参加者数1,823人(1月 26日)	小規模事業者	目標	11000	実績	0247	目標		実績			評価	А	評側	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②		
	総合的な振興を図る。			数值	11000	数值	8347	数值		数值						В		Α		現行どおり			
地域産業祭事業 (武豊町産業まつ	町・JA・商工会・地域団 体の協賛で行う集客力を備	武豊町産業まつり(11月8日・9日)		指標	参	加事業	所数	指標				来場者へ地域産業のPRを することで、産業の活性	総		事実	自己評価	ョ事	満足度	補足	目標①	目標②	より多くの地域商 業のPR、活性化	
り事業)	えた大規模な事業であり、 地域資源・産業資源・観光	開催場所 武豊町民会館 (ゆめたろうプラザ)	中小· 小規模事業者		(達成度 126.7 %)			(達成度 %)		%)	化に繋がった。また地域 一住民に対し商工会の存在	<u>-</u>		業施評側	Α	査業 結	Α		現行どおり		のため引き続き事 業を実施する。	į.	
	資源のPR及び販路開拓の 機会とし、地域の産業振興	来客数 20,000人 参加事業所数 38事業所	小沉沃尹未白	目標 数値	30	実績 数値	38	目標 数値		実績 数値		意義を高めることができ た。	価		価の	目標達成原	果への	必要性		実施方法①	実施方法②		
商店街振興事業	を図る。 街路灯を環境整備し、商店	・街路灯 253基の維持管理			4 ₹9欠		一	-				全街路灯のLED化に伴	\vdash			A 自己評価		A 満足度	補足	現行どおり目標①	目標②	商店への誘導灯と	+
持管理事業及び地	街及び商店の環境美化と魅力アップを図る。さらに防犯・交通事故防止にもなることから、明るい地域の街		中小・小規模事業者目標数値	指標			指標			%)	い、商店の環境美化が向 上し魅力アップに繋がっ					1	海疋及 A	тн	上げる	口保心	して、また商店街 等の景観美化や安	₹	
域限定券事業)					(達成度 100.4 %)			(達成度 %)		70)		総合	Α	事実業施	日標達成ß	調業	必要性		実施方法①	実施方法②	全で明るい街づく りのため、引き網		
	づくりに寄与することを目 的とする。			252	実績数値	253	目標数値		実績数値			評価	A	評側価の	l	結果の	A		現行どおり	× ie/j/A/g	き事業を実施する。 街路灯の新設により目標数値は上げる。		
街づくり事業	消費者の生活形態の変化、 地元商業者が抱える経営課	会議等の参加回数9回 イベント1回		46.10	会議	等の参	加回数	40-10-				定期的に会議等を行うこ とで発展会メンバーの意				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	発展会を中心とし た魅力ある街づく	
	題解決に向け、魅力あるイベントの実施等、武豊町商	・みゆき通り発展会		指標	(達成度 66.7 %)		指標	(達成度 %)		%)	とで発展会メンバーの息 識改革を図ることがで き、地域の活性化に繋	総		事実業施	В	調業	Α		現行どおり		り推進を図るため、経営支援を行		
	工業者の活性化を通じて街づくりに寄与することを目的とする。	イルミネーション事業 (12 月3日~2月9日) ・サンシャイン発展会	小規模事業者	目標数値	15	実績数値	10	目標数値		実績数値		がった。	評価	В	来他評側	Ē│ ^則 目標達成度	査結果の	必要性		実施方法①	実施方法② 言識改革に繋	の、性白文版を1 う中で各事業主の 意識改革に繋げ、 引き続き事業を実	2
		開催実績なし		蚁順		数旭		蚁旭		蚁旭						С		Α		現行どおり		施する。	

団体名: 武豊町商工会

事業 力	本学順帯 (北阜 口仏)	事業中 体	主たる								事	業	平 価							
事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	対象者	目 標①				目 標②			得られた効果			Α	ABCD評価			今後の展開・改		善点等 備考
産業活性化事業	町の代表的な地場産業「み そ・たまり」を中心にPR し武豊町の魅力を全国に発	各種観光イベントへの参加 (参加回数5回) 阿久比PA、スポーツDay、知 多半島観光物産展、愛知駅 伝ふるさと市、まちのたね		指標		光イベント参加回数 達成度 ^{250.0} %)		(達成度	度 %)		武豊町PRも兼ね地場産業の「みそ・たまり」を中心に各観光イベントに出	総合	事業	~ ·	調調	満足度	補足	目標① 現行どおり	日標・リート 日標・ビー PRし、地の発展を図	地場産業を広域に PRし、地域経済 の発展を図り引き
	信して、観光事業の振興と 地域経済の発展に寄与する ことを目的とする。		小規模事業者	目標数値	2	実績 5	目標数値		実績数値		店し、来場者等に幅広く PRができ、地域産業の発 展・活性化に繋がった。		A 評價	側の目標道	a a a a a a a a a a a a a a a a a a a	必要性	-	実施方法①	実施方法②	続き事業を実施す る。
調査・広報事業	緊急調査及び定期的な施	広報誌等の発行		~ =							情報不足でありがちな小			A		A		現行どおり		各種施策の普及、
調査・仏戦争未	策、税制・社会保険等の改 正等、商工業者に適した情報を周知する。	発行回数 6回 発行部数 4,489部	中小・	指標	広報発行部数 指標 (達成度 95.9 %)		指標 (達成度 %)			規模事業者に年4回の広 報発行を含め計6回に渡 り、各種施策や法改正な	総合	事 第 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	実	己評価 調 A 査	満足度	補足	目標① 現行どおり	目標②	合性施尿の音及、 情報提供のため引 き続き事業を実施 する。	
			小規模事業者	目標		実績 4400	目標		実績		ど必要な情報を周知することができた。		A I			必要性		実施方法①	実施方法②	, 00
				数値	4680	数値 4489	数值		数値			Щ	価(E	- ^(A		現行どおり		
	青年部及び青武会(青年部 OB会)・女性部員間での交 流や資質向上、社会奉仕活 動を通じて地域と関地域と 持つことにより、地域と の発展に寄与することをも	(青年部) セミナー等研修事業2 回、献血事業1回、全国大会 1回、地域まつり等事業4 回、商工会賀詞交歓会1回、			事業開催回数 指標 (達成度 100.0 %)			指標 (達成度 %)			部員同士で多業種交流を 図ることができ、研修会			自己	平価	満足度	補足	目標①	目標②	地域の担い手であ る青年部、若手後
			青年部・青武 会 (OB)・ 女性部員 (小規模事業 者)	指標			指標				等では知識習得により部員の資質向上に繋がっ			Δ		А		現行どおり		継者の育成を主体 に引き続き事業を
		視察研修1回、交流事業2回 計12回									t= .			目標道	成度	必要性		実施方法①	実施方法②	実施する。また、 奉仕活動により地
青年部・女性部事 業	的とする。 若手後継者育成に関 する取り組みを行い、部員 の資質向上を図る。	(青武会) 会員交流事業2 回、研修事業1回 計3回 (女性部) 講習会1回、産業 まつり1回、交流会2回、ふ るさとまつり1回、町制70周 年事業1回 計6回		目標数値		実績 21 数値 21	目標数値		実績数値			総合評価	事業 A 評価	施側	調査結果	ř		現行どおり		域の発展・福祉に 寄与する。
福利厚生事業	各種共済制度の普及や従業 員・事業主の退職金等の確保、健康診断の斡旋により 企業の健全な育成に資する	各共済加入者 1,943人 ・人間ドック、健康診断 受診者数 136人			各共済加入者数			人間ドッ	──────────────────── 間ドッグ等受診者数		商工業者に適した共済や			自己	呼価	満足度	補足	目標①	目標②	企業経営安定のため引き続き事業を
			中小 · 小規模事業者	指標	(達成度	104.5 %)	指標	(達成度 97.1 %)			健康診断を斡旋し、また 従業員の福利厚生を充実 させることで従業員の定 着が図れ、経営の安定に 繋がった。	総合	事業	.	調	₹ A		現行どおり	現行どおり	実施する。
	ことを目的とする。	計 2,079人	が残保事業有 及び その従業員	目標		実績 1042	目標		140 実績 13			評価	A 評 価		成度 果 (必要性		実施方法①	実施方法②	
		5, 2, 2, 2, 2		数値	1860 数値		数値		数値 136	136	36.5 - 1.20	ш,		Δ		A		現行どおり	現行どおり	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、 労働保険料の申告納付、そ の他労働保険に関する各行 届出等の事務手続きを事務 ことにより、 負担を軽減し、経営の安定	事務受託事業所数140件 ・業務委託事業所の年度更 新手続き並びに労働保険に 関する事務指導局局及 受知労働連携を図って を図り を図り を図り を図り を図り を図り を図り を図り を図り を図り		指標	事務受託事業所数		指標	(達成度 %)			事業主の事務が軽減されたことに加え、労働関係の情報も周知することができた。未加入事業所へ		-	自己	平価	満足度	補足	目標①	目標②	委託事業所の事務 処理軽減に繋がる など事務組合加入 のメリットを活用
			小規模事業者	1日1宗			1日1示								,	A		上げる		
											- も必要性を説明し加入推進することができた。		事 業 A 評 価	施目標道	成度直流	必要性		実施方法①	実施方法②	できるため、引きるような実施できる事業を実施する。事務受託事業所数の増加によげる。標数値は上げる。
	化に資することを目的とする。			目標 数値	138	実績 数値 140	目標数値		実績 数値						新 果。	A		現行どおり		
法人会事業	税務支援団体である法人会 等の活動をサポー税表の とにより取しい税額な申告 約税の推進を目指情報 が税の推進会員間の情報を が現るである。 の場としての商工業の の場として を目指す。	(法人会) 会議等5回、講習会1回、 研修会1回、社会貢献事業1 回、 計8回	中小・小規模事業者		会議等の開催数 標 (達成度 88.9 %)			(達成度 %)			税制改正などの税務知識 の習得、適正な申告納税 の推進を図ることができ た。また、会議等の開催			自己	平価	満足度	補足	目標①	目標②	税務に関する事項 の周知を図るため 引き続き事業実施 する。
				指標			指標					総	事		調	A		現行どおり		
				目標数値					l		により会員間の情報交換 を行うことができた。	合評	A 業 評	側目標道	聖人	2.54		実施方法①	実施方法②	
						実績 8 数値 8	目標 数値		実績 数値			価	価	Ø E	果 (A		現行どおり		
産業団体事業	団体の運営は団体主導を基本としているが、業種別に 南工業団体等指導をし、 体をサポートすることで、 地域商工業者の発展に寄与 することを目的とする。	加入事業者数 790件 ポイントカード事業 0件 建設組合知多支部 694件 リフォーム相談事業 17件	小規模事業者	指揮	加入事業者数指標 (達成度 92.9 %)		指標				小規模事業者の経営資源 を補完し、事業者の経営 改善ができた。また、団 体としての事業意欲の向			自己	平価 ,	満足度	補足	目標①	目標②	団体組織の強化育 成を図るため引き
				刊新			7日 休	(達成度	成度 %)			総	事 A 業	施	調査	Ř A		下げる		続き事業実施す る。一方で、ポイ
		飲食組合事業 13件 環境支援事業 66件	小、风快学术日	目標数値	850	実績 数値 790	目標数値		実績数値		上と、地域の活性化に繋がった。	評価	評価			必要性		実施方法①	実施方法②	・ 、 トカー じ車巻け

[※] 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。